

予定されているのである。

このようにイギリスにおいては、各自のニーズに応じるとともに雇用市場の需要にも応えるような教育を提供するシステムの構築が重要な課題とされ、これまで十分ではなかった職業教育・訓練についての資格制度を確立するとともに、その資格制度の体系をアカデミックな教育と関連させることが求められている。またその際には、質の確保、財政面での効率化、機会の平等が留意されなければならない。このような状況のなかで、学校教育における資格(学歴)と職業教育の諸資格を総合した「全国資格フレームワーク」(National Framework of Qualifications)が構想され、その実現と継続的な改善が進められている。

## (2) National Framework of Qualificationsと Qualifications and Curriculum Authority

### 1) Qualifications and Curriculum Authorityの機能

Qualifications and Curriculum Authority (以下QCA)は、1997年教育法第21条に基づいて1997年10月1日に設置され、イングランドにおける教育と訓練に関する政策立案についての助言を主な役割とし、とくに教育・訓練における質と一貫性の向上をめざしている。学校のカリキュラムと試験、評価に関しては、①教育雇用大臣に対する主要事項についての助言、②カリキュラム・評価に関する研究についての大員に対する助言、③情報の公開と教師、親等に対するガイダンス、④教育の質的保証のための資格、資格付与団体、試験担当者に対する審査、⑤基礎段階における早期学習目標の開発、⑥5歳児に対する基礎的評価認定、⑦学校で利用できる資格についての大員に対する助言、を行っており、外部試験(学校内での評価ではなく、学校の外で実施される公的試験。学校教育の修了資格試験も含まれる)については、①外部試験全般に関する大員に対する助言、②外部試験に関する重要な問題についての大員に対する助言、③外部の資格認定を実施する機関・団体に対する情報提供、支援、助言、④資格認定についての開発と認定基準の公開、⑤認定基準に従った資格認定と承認について大員に対する助言、をその機能としている。このようにQCAの機能の中心は学校教育におけるカリキュラム開発と学歴認定なのであるが、学校教育における職業教育の導入を出発点として、一般教育と職業教育、技能資格を結合して一貫した総合的資格制度である「全国資格フレームワーク」(National Framework of Qualifications)を確立することをめざしている。

### 2) National Framework of Qualifications (「全国資格フレームワーク」)

「全国資格フレームワーク」(図Ⅲ-2-1)には入門から第5までの6つのレベルがあり、「一般」、「職業関連」、「職業」の3つのカテゴリーに分けられている。学校教育に対応させて考えるならば、一般的にはレベル1と2が14歳から16歳、レベル3が16歳から19歳、レベル4と5が大学レベルということになる。入門レベルはGCSEのGグレード、GNVQの基礎レベル、NVQレベル1などの必要な基礎的水準に達しない者の学業達成を認定するものであるが、大臣はこの入門レベルを学校において特別な教育ニーズのある16歳以下の生徒の資格認定に利用することを認めており、QCAはこれを成人に適用することを模索している。また、柔軟な単位制度に基づいた成人を対象とした統一的な資格制度も構想されている。

図Ⅲ-2-1 「全国資格フレームワーク」(National Framework of Qualifications)

資格レベル	一般		職業関連	職業
5	高等レベル資格			レベル5 NVQ
4				レベル4 NVQ
3 (上級レベル)	Aレベル	F-S数学単位 レベル3	職業Aレベル (上級GNVQ)	レベル3 NVQ
2 (中級レベル)	GCSE A*-C	F-S数学単位 レベル2	職業GCSE A*-C (中級GNVQ)	レベル2 NVQ
1 (基礎レベル)	GCSE D-G	F-S数学単位 レベル1	職業GCSE D-G (基礎GNVQ)	レベル1 NVQ
入門レベル	(学業) 達成証明書			

- ・「F-S数学単位」(Free-Standing Mathematics Units) —1998年から2000年まで実験的に導入され、2000年9月から開始された。数学を学習の一部に取り入れることを奨励するためのものである。
- ・職業Aレベルは2000年9月から開始。職業GCSEは2002年から開始予定。

なお、主なレベル及びカテゴリーごとの資格の数は以下の通りである(表Ⅲ-2-1)。

表Ⅲ-2-1 カテゴリー、レベルごとの資格数(1999年)

	資 格	認証を受けた団体の資格
GCE Aレベル	99	275
GCE Aレベル(補足)	84	218
GCSE フル・コース	120	362
GCSE 短期コース	24	65
上級GNVQ	14	42
中級GNVQ	14	42
基礎GNVQ	12	36
中級GNVQパート1	7	21
基礎GNVQパート1	7	21
NVQレベル1	80	165
NVQレベル2	328	575
NVQレベル3	319	606
NVQレベル4	131	283
NVQレベル5	12	47
その他のVQ	1743	1743
計	2994	4501

(出典 "Version 1 Qualifications Data: A Research Commentary August 2000", QCA, p.12)

この表ではGNVQの数が最も少なく、次に一般、NVQの順に種類が多くなっている。また、一般では認証を受けた団体の資格が通常の資格の3倍ほどであるのに対し、NVQでは3分の2程度に留まっている。さらに、NVQではレベル2とレベル3が多く、最上級であるレベル5の資格は非常に少ない。

また、このフレームワークにしたがって、イングランドでは次のような目標が設定されている。

#### 4) 「全国資格フレームワーク」と資格認証のプロセス

イギリスは資格のジャングルであると指摘されるほど、各種の資格の数が多く、すべての資格が「全国資格フレームワーク」に位置付けられているわけではない。したがって、ある資格が「全国資格フレームワーク」の枠内に入っているかどうかの認証は、イングランドではQCAの権限であり、またQCAはその資格の質の維持に責任を持っている。特に資格が多様であるNVQについては次に示すような手続きで資格の認証が行われている。

- \* QCA——QCAはNVQの資格が一定の基準に従っており、また他の職業セクターと比較して妥当であるかを判断する。QCAは資格授与団体が用意したNVQ資格についての申請を確認し、資格授与団体の質の保証とその活動の審査を行う
- \* 標準設定団体——通常は全国訓練機構 (National Training Organisations —NTOs) が、承認した職業についての雇用を前提とした能力標準を特定し、設定し、更新する。(NVQはこの標準とQCAの定める基準にも基づいている)
- \* 資格授与団体——資格授与団体は2つの機能を持つ。標準設定団体とともにNVQの開発に責任を持ち、それぞれのNCQの実施にも責任を持つ。また、NVQに関する評価サービスを行う評価センターを承認する。また、資格授与団体は評価のプロセスをモニターし、NVQと単位証明書を授与する。実際は数多くの資格授与団体が存在するが、現在イングランドではAQA (Assessment and Qualifications Alliance)、Edexcel Foundation、OCR (Oxford Cambridge and RSA Examinations) の3つの連合団体にそれらは統括されている。また、QCAによって認証された資格の資格授与団体等に対しては政府からの補助金が交付される。

図Ⅲ-2-2

